

令和 7 年度 洋上風力発電施設撤去調査設計業務

仕 様 書

1. 業務名

洋上風力発電施設撤去調査設計業務

2. 業務目的

せたな町洋上風力発電施設「風海鳥」は、日本初の洋上風力発電として平成 16 年 4 月 1 日より本格稼働を開始しました。

本格稼働後、適正な維持管理に努めてきたところではありますが、令和 4 年度以降、本体及び機器等に不具合が生じ現在稼働休止となっております。

本業務は、この洋上風力発電施設「風海鳥」の撤去にあたり、必要となる各種調査、関係機関との調整、解体工事实施設計と行うものであります。

3. 業務期間

契約締結の翌日から令和 8 年 3 月 18 日 まで

4. 業務対象範囲

せたな町洋上風力発電施設「風海鳥」の撤去にあたり、安全性・環境負荷低減・コスト効率性を最大限考慮した設計を行う

- ・海上部撤去（洋上風力発電設備 2 基 左記以外の基礎架台、海底ケーブル等は残置）

5. 風力発電施設の詳細

発電機 VESTAS 製 V47-660kW 型 (40m) 2 台 1,200kW (600kW×2 台)

平成 16 年 1 月竣工

設備・構造 ローター部 3 枚羽 直径 47m 受風面積 1,735 m²

ブレード 材質 ガラス繊維強化ポリエステル

ナセル部 発電機

タワー部 鋼製 40m

基礎部 鉄筋コンクリート造

重量 ローター 7.2ton

ナセル 20.4ton

サイドチャンバー 2.2ton

タワー 24.2ton

付属品 2.5ton

合計 56.5ton

6. 業務内容

(1) 現地調査

- ・基礎構造物の劣化度調査
- ・海底環境における底質、水生生物、底生生物、付着生物の調査
- ・現地調査結果の検討、とりまとめ

(2) 残置設備検討及び専門的知見の反映

- ・老朽化進行予測の検討
- ・健全度評価、現状特性の把握、目標の設定、設置残量の検討等

(3) 実施設計業務

a) 撤去方法

- ・風車解体手順の検討 ※再使用を前提とする
- ・撤去作業に必要な重機の選定
- ・撤去作業時の安全対策の検討
- ・撤去作業に伴う騒音、振動、粉塵などの環境影響評価と対策の検討
- ・撤去作業のスケジュールの設定

b) 環境保全措置

- ・撤去作業に伴う油漏れ、海水汚染などの環境汚染の防止対策の検討
- ・撤去作業で発生する廃棄物の分別、回収、リサイクル、処分方法

c) 安全対策

- ・作業員の安全確保のための教育、訓練、装備の検討
- ・風速制限、高所作業時の安全対策、緊急時対応
- ・周辺住民や漁業者への影響を最小限に抑えるための対策

d) 廃棄物処理

- ・廃棄物の種類、数量、処理方法
- ・リサイクル可能な部品、材料の分別、回収、再利用

e) その他

- ・撤去作業に関わる関係機関（電力会社、関係省庁、自治体など）との調整
- ・撤去作業後の報告書作成

f) 成果品とりまとめ

上記の作業結果を業務報告書としてとりまとめ、解体工事実施設計書を作成する

(4) 基本計画説明書の作成

(5) 関係機関との協議等

- ・関係機関（電力会社、関係省庁、自治体など）との協議及び申請手続

7. 打合せ協議

業務を円滑に進めるため打合せを行う。なお、打合せ場所はせたな町役場とする

8. 参考とする要領等

- (1) 国土交通省港湾工事共通仕様書
- (2) 北海道建設部土木工事共通仕様書
- (3) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律
- (4) 着床式洋上風力発電施設の廃棄許可に係る考え方

※令和3年9月 環境省 水・大気環境局 水環境課 海洋環境局

- (5) その他関係法令

9. 貸与する資料

本業務の実施に関して、本町が所有する資料等を貸与するものとする

10. 成果品

- | | |
|------------------------|-----|
| (1) 業務報告書(業務実績報告) | 1 部 |
| (2) 実施設計書、仕様書、図面等 | 1 部 |
| (3) その他 (検討資料等) | 一式 |
| (4) 上記電子媒体 (CD 又は DVD) | 一式 |

11. その他

この仕様に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、必要に応じてせたな町と受託者で協議して決定する